

この物語には、
登場するのに、みえないものがひとつある。

バスケットボールだ。

登場人物

女子

S えす (立花小百合) 転校生。天才バスケットボール女子。
K けい (小池桂子) 下田農業女子高生。Sと同じ中学のもと女子バス選手。
P ぴー (水町ヒロ) 下田農業女子高生。バスケの経験があるだけ。
U ゆー (青山佑) 下田農業女子高生。足が速いだけ。
O おうちちゃん (大場菜月) 下田農業女子高生。背がちよつと高いだけ。
五十嵐桃子先生 イチゴハウスの農業教員
澤田 私立聖マリアンヌ女子バスケットボール選手
女バス2〜5 私立聖マリアンヌ女子バスケットボール部部員

男子

少年 お父さんが語ってくれた物語を物語る少年
愛知 イチゴの農家の息子 バスケ劣等生。
兵庫 下田男子バスケットボール部のキャプテン
松本 バスケの推薦で下田に入学してきた。
福島 下田男バスの実はガードの天才。しかしSに破れる。
栃木 下田男バス俊足のセンター
後藤拓実先生 メンタルを大切にする男バス顧問
有働 誠道高校男子バスケットボールの主将
誠道1〜4 誠道高校男子バスケットボールの主将
聖マリアンヌの顧問

Scene O 時間が凍る時

バスケの試合が止まっている。

地を這うようにドリブル選手。両手を広げてパスを要求する選手。

そして全員全力でボールを追う。それが止まっている。

ドリブルをしながら現れる少年が1人。ゴールポストにシュートする。
カットインで大歓声。そして高速フェードアウト。

間。

少年 76対75。僕の父さんの下田農業高校は、強豪誠道高校に、10点差から追いついていた。残り時間は40秒。最後の40秒になったとき、

少年と、愛知が重なる。

二人

時よ凍れ!

と父さんは言った。誰もがこのままいけると思った40秒。でも、バスケットボールはそんなうまくいかない。男と女がうまくいかないのと同じくらい

うまくいかない。と父さんは語ってくれた。解凍！

音楽！応援団席のペットボトルが突然動き出す。時間が動き出す。
弱小下田農業高校と強豪誠道高校との決勝戦。

少年 凍結！（時間がとまる）残り36秒だった。父さんの下田農業高校キャプテン兵庫は、福島からもらったパスをつないで、ゴール下をねらう。立ちほだかったのは、誠道キャプテン！！

有働 うおおおおお。
少年 有働大木！スロー！

舞台は駒落とりのようにスロー空間。

有働 おいどんがもらうどす。
男子 もらうどす。もらうどす。もうらどす。
少年 そこへ。

まずい有働だ。愛知！

少年 愛知に。パス。

まかせろおお！

少年 凍結！この男、愛知と呼ばれたこの男。僕の父さんになんど。パスが回ったことから、誠道高校と下田農業との決勝戦は変わった。解凍！

愛知に。パス。疾走する愛知。どんどんぬいていく。そこへ、誠道のプレイヤーが当たってくる。

誠道1 下田の愛知ってクズだってな！
愛知 うるせえ！

愛知、誠道1を抜くが、さらにそこに有働達が立ちほだかる。

させるかあ！

少年 父さんは、愛知五郎は疾走した。残り時間は12秒！時よ！

男子 時よ！

女子 あたし達のイチゴアイスクリームみたいに！

少年 時よ凍れ！

音楽！舞台が割れる。少女が疾走してくる。

夕日の映える下田農業西駐車場。

少年 時は2ヶ月前にさかのぼる。下田農業高校の西駐車場を一人の女がランニングをしている。これは父さんが語ってくれた、一期一会の物語だ。

Scene 1 はいらなかつたから始まる物語。

走って来た少女は、立ち止まりゴールを見上げている。小柄な背丈は小 学生と見間違える。そして、何かに気づきその場を走り去る。

下田農業男子バスケットボール部の4人が走りこんで来る。

男バス 実習終わったー！

兵庫 よーし下田男バス練習開始！

男バス
兵庫 ういつす！
兵庫 今日もフェイク。
松本 昨日もフェイク。
福島 ずっとフェイク。
兵庫 なぜだと思う？
男バス 愛知ができないから！
愛知 じゃあ今日こそ見学で。
福島 3年目！
愛知 ごめん。
兵庫 松本ができるから、松本のをよく見て。
福島 よく見て！
愛知 何回も見たって。
兵庫 目離すんじゃないぞ。
松本 とってみる。

兵庫 愛知松本の初歩的なフェイクに引っかけりこける。松本シュートを決める。
福島 おーナイス。
愛知 59連勝！（松本とハイタッチ）
兵庫 やっぱできないんだって。見学、見学。
兵庫 できるだろ！

愛知 兵庫が愛知にボールを投げる。先ほどの少女が走りこんできて空中でキャッチ。全員がウをみる。驚き。
ウ 下手くそ。もっと練習しろ。
愛知 はあ？なんだよ急に失礼な。
ウ ボールをドリブルするウ、愛知が対峙する。

ウ フェイクは。
愛知 フェイクは。
ウ こうするんだ。
愛知 はあ？
ウ 愛知の前でフェイクを決める。ひっくり返る愛知。
愛知 あんな急に目の前で回ったらびっくりするじゃん。
福島 あれがフェイク。
兵庫 君、誰。
ウ ……
兵庫 ウはお前にも勝つ。
兵庫 は。
ウ 止めてみる。

松本 ウドリブル。兵庫とウ。一瞬間の間。兵庫のアタック。ウはすり抜ける。
松本 瞬時にゴールがきまる。
松本 まじかよ兵庫。おい。

福島 兵庫抜かれちゃったよ。

兵庫 お前誰。

兵庫 私が勝ったら、この場所をゆずれは。

兵庫 この場所を譲れ。私が勝ったら。

全員 !

兵庫 この下田農業でバスケットをすることにした。

兵庫 お前さ、何。

兵庫 生産科学科のSだ。

兵庫 名前は。

S Sでいい。名前に意味はない。

松本 何こいつ。

兵庫 愛知、生産学科にこんなのいたか。

愛知 転校生。

兵庫 転校生？

愛知 確かさつきまで、イチゴハウスで実習していたはずだ。五十嵐先生と。

S、軽々とスリーを決める。

S 私の勝ちでいいか。

松本 俺がぶっ潰す！

ボールを拾った松本を、福島が一瞬で奪う！

! はい、兵庫主将、おれにやらせてよ。

兵庫 やめとけ福島。

福島 下田農業男バス主将が、女子に2回も抜かれるわけにいかないっしょ。

兵庫 はあ。

福島 女子相手に本気モードっすよ。福島いきます。勝つ。

Sと福島の攻防。S抜けない。福島もSのボールを奪えない。兵庫。松本が声をかける。

福島 なんでこの場所が欲しいの。(とりにいく)

S (かわす) 練習場所がない

福島 だってこの学校女バスないもん。(Sかわす) でも練習場所ないのは。お前だけじゃねえ。

福島 福島すげえ。

松本 転校生もすごい。

愛知 こんなへたくそな男バスにも体育館がある。

松本 俺ら実習終わったらなここしか空いてないんだよ！どっかいけよチービ！

松本卑怯にも横から参戦する。

愛知 おい、女子1人に男子2人は卑怯だつて。

松本ボールを取りに行くが、ぬかさされる。Sと福島のボールの二人がボールにかじりつく。女子であるSから福島はボールをとれない。

兵庫
すげえパワー！

二人とも飛ばされて倒れる。ボールはSの腕。

愛知
大丈夫？たしか立花、立花小百合さんだったよね。

S
立花じゃない。Sだ。

愛知
小百合のS？

福島
違うよ、スモールのSだよ。

松本
ほんとは小学生なんじゃない？

兵庫
帰り道わかるか？

愛知
俺たちと一緒に練習する？

福島
ほら立てよ

S、福島をぶん殴る。

S
触るな！！！！

全員
は！？

S
お前達全員、相手してやる。Sと呼べ。ここを私の場所にする。くず。

愛知
くずう！

S
フェイクもできないくず。

福島
愛知くずって言われちゃったよ。俺もだけど！

愛知
もう一回いってみろ！

愛知とS。軽く抜かれる。そこへ兵庫。

福島
兵庫。

S
愛知しつかりしろ。

兵庫
来いよ。

男子が人が入る。抜く。そこへ愛知。愛知、ガードもなっていない。

S
なんだそれ。

そこへKと栃木が来る。

栃木
キャプテン！倉庫の片づけ終わりました。

兵庫
今いそがしい。

栃木
なにこれ？

K
あれ。Sじゃん。S。久しぶり。

S
Kじゃん。

栃木
桂子ちゃんの知り合い？

K
元聖上中のバスケット部。エース。立花小百合。Sって言われてる子だよ。

栃木
聖上中の女バスエース。

松本
鬼つよだぞ。聖上中。

K
澤田と一緒に聖マリアンヌに行ったと思ったのに何で下田来たの？下田女バスな

いよ。

K
手伝え。

S
何を？

S、Kにパス。

S 女バスを作る！

K ぐさよー

Kが参戦する。松本をかわして、Sにパス。

福島 愛知回れ！

K、ドリブルで回り込む。K、Sにパス。S兵庫を、抜き。福島をKのパスでかわし、松本のデイフェンスをかわす。そしてシュート。を福島がガードする。

福島 俺のがあああど。えええっ！

Sはいきなり、ノールックパスで、遠く離れたKに。

兵庫 ノールックパス！？

K 来ると思った。

兵庫 愛知とめろ！

愛知 しゃーしゃーしゃー！

S 抜く。愛知こける。全員、Sに襲い掛かるがすべて抜かれる。

S 下田農業男バスもこの程度か。

男バスを抜いてSはそのままバックトスする。ボールが放物線を描いてリングに向かう。スロー空間！そこへ陽気な有働と誠道1234

S はいれ。

誠道 ほーほー物線。はいる。はいる。はいる。

有働 おいどんのハートに！

1
2
3
4

ズッキュン！

効果音。リングにボールが当たる音。そしておちる音。

誠道1 (せき払い) ダンク (高音)

有働 入ったー！

拍手してSに近寄る。

有働 安心してください。

誠道 入りましたよ！

松本 有働じゃねえ。こいつ誠道の有働じゃねえか！？

福島 有働が。

S 有働？

愛知 中部地区最強誠道高校キャプテン。有働大木。

S 最強。

有働を先頭に、誠道整列。

有働 S あなたお名前は。
有働 S。 あなたに一目惚れドス。おねがいますどす。

S すばやくKと入れ替わる。

K 困ります。

有働 S 誰だよ！？Sさん！おねがいますどす。
S イヤ。

有働が倒れるので、みんなで勇気づける。

1 予想通りく

有働 2 お前ら。

1 2 はい！

有働 3 壁ドン。

1 2 3 4 はう！

有働 Sさん、おいどんのハートに、君というダンクはきまつたんだ。お前ら、Sさんのバスケットはどうだった？

1 2 3 4 憧れです！

有働 1 2 3 4 ばか野郎！俺らも学校に戻って練習だ。

1 2 3 4 はい！

有働 1 2 3 4 行け。

1 2 3 4 はい！

有働 Sさん、差し入れです。

有働投げキッスをして去る。

兵庫 S あれが中部地区最強？

S K 〆は今何をやってる？

S 男子バスケットボール部のマネージャーだよ。

S 女バスをつくる。一緒にやろう。

下手ハウスの中から、五十嵐先生があらわれる。バケツに葉かきしたイチゴの葉が
いっぱい。

兵庫 S 五十嵐先生。

S 五十嵐 立花小百合。

S 五十嵐 ……

S 五十嵐 立花小百合。お前が放課後にやったイチゴの栽培管理に問題があったので。探しに
来た。

S 五十嵐 問題。

S 五十嵐 うどんこ病にやられた葉を、放課後時間内にとれといったのに、とれていない。実
にハウス全体の54%のうどんこ病にかかった葉がとれていない。これでは、今日
の夜にかびの胞子がハウスに蔓延し、病気が広がることは確実だ。……手抜
いたな。立花。

S ……すいません。

S 五十嵐 だから、最後のシュートもきまらない。
〆貸せ。

S、Kからボールをもらう。

S 先生はバスケをやったことがあるのか。

S、五十嵐にボールをなげる。片手でとる。全員、驚き。そして、ゴールから淡々と距離をとりながら、ドリブルをする五十嵐、ふっとシュート体勢。

スリー……

そんな距離じゃないって！

五十嵐、軽くシュートを決める。みんなめちやくちや驚き。

S ……先生、女バスの顧問になってください。
どうしてだ。

男バスに勝ってこの場所を貰うからです。

男子達 は——。

男子怒って、Sにつめよる。K笑う。

K S、相変わらず戦うつもりなんだね。
戦うってなんだよ。

S 戦う者の唄が聞こえるか？って。
K 鼓動とドラムが響き合えば。って。

は？

新たに熱い命が始まる。明日が来たとき、そうさ明日が。

男バスをのせてしまったSに愛知はとまどう。

少年 ここから、父さんとSの戦いはじまったんだ。

全員唄。イチゴハウスに様変わりする。

Scene 2 いちいアイスクリームができるまで

少年 父さんがいた下田農業はイチゴ栽培で有名な農業高校だ。でもここを卒業して実際に農業をする生徒はほとんどいない。

O 五十嵐 大場、そのいちごはまだ青い。
えー。

後藤 おーい！収穫したイチゴはこの台車の上に積んでいけ！

少年 どうして農業高校に入ったのって聞いても
栃木 普通科高校の勉強がめんどいから農業高校に来た！

少年 という子はたくさんいる。だから、早朝7時30分からの収穫実習や農業実習の授業、そして放課後も栽培管理実習が忙しいけど、真剣にやる子はすくない。植物のかげに隠れてスマートフォンをいじる子。女の子を口説いている子。

福島が水町を口説く。軽くふられる。

少年 スポーツ推薦の男子（松本）なんか、部活のことしか考えてない。

そんな中、僕の父さんは唯一のイチゴ農家の息子だった。だから農業高校に入った。将来はイチゴ農家と決まっていた。バスケットボール部ではクズだけど、イチゴハウスのなかでは、父さんはリーダーだったんだ。

後藤 愛知、終わっていいぞ。
愛知 はい。みんなあつまってください！

みんな集まってくる。

後藤 愛知、号令！

愛知 脱帽、気を付け、礼。

全員 ありがとうございます。

福島 はい解散！

松本 部活いこうぜ。

後藤 まてえい男子バスケットボール部。

男バス えっ！

五十嵐 お前達のイチゴの朝収穫には問題がある。なあ愛知。

愛知 はい。すいません。

福島 福島、収穫の仕方を見てみる。

五十嵐 赤いやつ・つむ。こう。

福島 愛知。

愛知 ちがいます。

福島 はっ。

いちごは傷つきやすいから、イチゴの花柄とへたをつかんで、自分のほうにVの手を返します。ぷちつとれます。それに、トレイの下の方からへた下にむけて置いてください。置いてない！それ果肉の先端がつぶれるよ！

男子 へーーーーー

愛知 なんでイチゴ二段に積んでいるの。下のイチゴが潰れちゃうだろ。

福島 わざとじゃないよ。

松本 自然にこうなった。

愛知 イチゴは、一期一会って言って、一粒一粒大切に扱えうんだよ。うちのおやじが言っていた。

福島 一期一会ってそういう意味じゃないだろ。

兵庫 おまえのおやじがおかしいだろ！

愛知 しっかりやらないのがおかしいだろ。

松本 しっかりやっていると時間かかるんだ！

愛知 やり直しの時間とどっちがいいんだ。

愛知と松本が言い争い。男バスも加わり騒ぎ出す。

後藤

お前ら、いいか、よく聞け。俺たちは男だ。だったらイチゴを女の子に例えてみるとしよう。いいか、イチゴっていうのはな、傷つきやすい女性を優しく扱うようにして扱うんだ。ですよね、先生。

五十嵐 後藤先生、もうこの子たちいちごの放課後実習やらなくていいです。

松本 てことは、バスケット行っているんですか？

後藤をふきとばし盛り上がる男バス

男バス

(よろこぶ)

後藤 お前ら！

五十嵐 そして総合実習の単位もやらない。

(はう！)

先生、わるかったすけど先生。ホントそれはわるかったす。でも、そのさ、実習のせいでさ、バスケできないんすよ。最後の試合、近いのに、ちよっとおかしくないすか。

おかしいよ！

部長は、だれだ。兵庫か。

はい！

こないだ格下の高校に、練習試合負けたそうだな。

そうなんですよ。

イチゴ1つ大事にできない奴が、仲間からのパスを大切にできるのか。

おお！

実習中の集中力もない奴が。試合に勝てるか。

うおあ！

全て終わるまで部活に行かせない。

ああ。

先生、僕がみんなの分やっついていいですか。

えっ。

イチゴ班のリーダーは僕です。イチゴのミスは僕の責任です。ですからこいつらに部活にいかせやっってください。

愛知。

おまえ。

俺たちのためだなんて

いいんだよ。

うぜえ。

えっ。

ああ、すいません。こいつ部活やりたくないだけですから。

えー！

おまえ、本当にクズだな。

ばればれだ。ばか。

ああ。

みいずうまあちい！お前なんで収穫実習中に携帯触ってるんだ！

おじいちゃん危篤なんです。

おじいちゃんが危篤？ああそうかしやあないな、すぐ帰るか？

水町は昨年の二月に祖父忌引で公欠してたな。昨年死んだおじいちゃんが今年

も死ぬのか。

ばれた。

水町、お前のメンタルブラックだよ！

ブラック！

それにさ、なんでツイッターにイチゴ食べてる大場と青山の写真載ってるんだ。なんだよイチゴ食すナウって！

(爆笑)

おい、お前らうるさいぞ！

男子達、慌てていってしまふ。後藤も走っていってしまふ。

水町はまた、携帯をさわっている。五十嵐が、一瞬にしてその携帯を奪う。

全員、そのスピードに驚愕する。

……

おまえたちのやってることには、意味があるのか。

全員
五十嵐

男バス
福島

男バス

五十嵐

兵庫

五十嵐

兵庫

五十嵐

男バス

五十嵐

男バス

五十嵐

男バス

愛知

全員

愛知

兵庫

福島

松本

愛知

栃木

愛知

松本

愛知

福島

兵庫

愛知

後藤

水町

後藤

五十嵐

水町

後藤

男子

後藤

女子

……

ハウスの外とのバスケットゴールで音がする。
全員みる。Sがいつもの間にかそこにいて、シュート練をしている。
愛知がハウスの外にでる。

S 愛知

今…来たの？
そうだ。

S、愛知をかわして、ボールをバッグにしまい。ハウスにはいる。
五十嵐がそこにやってくる。

S 五十嵐

なぜ遅刻した。理由を言え。

S 五十嵐

言いたくありません。

S 五十嵐

どうしていいたくない。

S 五十嵐

言いたくないからです。

愛知

一人暮らしの下宿だ。遅刻する要素がない。

S 五十嵐

お父さんに連絡した。何があったか知っている。

S 五十嵐

……

S 五十嵐

なぜ、私に言わない。

S 五十嵐

……

S、五十嵐を睨みつける。

五十嵐、持っていたイチゴをSの口の中に放り込む。

五十嵐のこの瞬間技にまた全員が驚愕する。

全員

S 五十嵐

……

S 五十嵐

うまいか？

S 五十嵐

お前はなぜこの学校に来た。

S 五十嵐

イチゴが好きだから。

S 五十嵐

嘘だ。

S 五十嵐

……

S 五十嵐

その態度をいつまで続けるつもりだ。
続けることに意味がないなら学校をやめる。

五十嵐サボっている女子を見つける。

水町

おい、ちゃんとやれ。このハウスはあと30分で40度を超える。

水町

ねえ、それって意味あるの。その40度とか意味あるの？ねえ、あたしのかえして。

五十嵐

おわったらかえす。

水町

かえせ。かえせよ！

五十嵐、相手にせずいつてしまおう。

女子5人残る。すぐに水町達やめる。

愛知は、離れて実習することにする。

Sはバックからボール。

愛知
P
S
愛知

実習中だぞ。
やめときゃ。休むだけにしとこ。
なんで。
おいバスケやめろ。

愛知はボールを取り上げようとする。Sはかわす。

愛知
S
愛知

いい加減にしとけよ。
これはペナルティだ。うどんこ病の葉かきに意味はない。やる必要はない。
あのさあ、うどんこ病がでてるってことは、イチゴの他の葉にうどんこ病の胞子がのるってことだ。胞子がのった後、葉っぱが枯れて、イチゴが小さくなつて甘くなくなる。そんなイチゴは、くずイチゴだ！イチゴはおいしいといってもらわないといけない。

水町
大場
青山
愛知

それさ、うちらには意味ないんやて。
意味ないし。
かゆい。

愛知

イチゴのこと何も知らない君たちが、いい加減なこというなよ。

K
愛知君。

愛知

君たちみたいなの、見てると、僕はイラつくんだよ
うるさ。

水町

しー！

青山

ムヒ！

愛知

やれよ。おわんねえだろ！

S
愛知

はっ、いちご農家が。
んだと？バスケとかボールとかやめろよ！

愛知はSのボールをもう一度とろうとする。とれない。女子笑う。

S

フエイクもパスもドリブルもまともに練習しない奴がバスケやってんじやねよ。お

愛知

前みたいなの奴みてると、イラつくんだよ。
バスケとか関係ねえだろ。

S
愛知

仲間に甘えてるだけじゃないの？お前本気でやってねえだろ！

S
愛知

やってないよ。

S
ああ？

愛知

バスケなんか、僕はうまくならない！

S
愛知

じゅあ、イチゴ農家なんか、こん中でお前だけだ。みんな意味ねえのに、こんなこ

とやらされてる奴の気持ち、わかんのかよ？

いちご農家なんかってなんだよ！

Sの携帯が鳴る。

S

K

なんだよ・・捨てた、捨てたから・・・父さんのせいだね、母さん今一人なんだよ。だから私も一人で暮らすって決めたの。一人でいい。一人がいい。なんで遅刻したの。

S

下宿に荷物がたくさん届いたから、送り返した。

K

誰に。

S

父親。

K

荷物。なんの。

S

あいつの送ってきたものなんかいらぬ。全部ぶっこわした。ごみにだした。

沈黙。しゃがみこむS。大場がKにボール頂戴アピール。
大場にボールを渡す。大場めちやめちやついて、楽しむ。

大場　なんかやって(水町に)。

水町、ボールを受け取り、慣れた感じでボールをつく。
Sが、ガードの構えを水町に。

水町　無理無理無理。

S　なあ、バスケットしたことあるの？

水町　中学バスケットやった。ありがとう。

S　何が？

水町　なんとなく。

S　あの。蚊に刺されたから保健室いってくるね。
は？

青山、ぴゅっと消えてしまう。

S　K、あいつ変わってるな。

K　足早いんだよ。

S　結構背あるね。

大場　(恥ずかしがる)

S　名前は？

大場　大場夏樹。

S　じゃあO。

O　なんで？

S　名前に意味はない。

水町　O？名前は？

S　Sでいい。名前に意味はない。Kだもんな。

K　そしてOだ。

O　O。

P　S・K・O・O。

K　ヒロはひーって呼ばれるよ。

水町　ひーはなんか。

S　じゃあP。

水町　私P？なにそれ。

S　名前に意味はない。けど私たちがバスケットすることに意味はある。

S　は、ちょ、何言ってるの？

K　あと一人そろえば女バスそろうね

S　ああ

愛知　そんなうまいくわけないだろ。

U　ただいま。

O　Uちゃんはやい。

U　うん。保健室でムヒぬってもらった。

女子　ムヒ？

S　保健室までのくらい。

P　500メートル。

女子　足が早い。

愛知　まさか、バスケットを。

S 本気だ。
K みんな。

女子順番に手を重ねていく。

K 下田女子バス部いくぞ！
女子 おお！
愛知 まじかよ。

転換。音楽。西駐車場。

兵庫 実習サボって男バス練習開始します！
男バス うえい！
兵庫 ピポットターンいきます！せーの！

男バスそろってピポットターンの先に五十嵐先生。

五十嵐 何をやっている、早く実習に戻れ。
男バス はいいいい！

男子五十嵐に追われて去る。女子やってくる。

K 実習終わった後だけど、まずシュート練からね。P。
シュート練を始める。Pきれいにシュート。D持って走る。

S おい、トラベリングだ。戻れ。にやにやすんな。ふてくされんな
ボールもって歩くな。ドリブルしろ。

U もう一度やるが今度はボールが取れない。Bの方へ転がる。

U いめん、ボールとって。

S とりにこく。

U ありがとう。
S 自分でとりに来い。
K S 言い過ぎだった。

男子再びバスケしに来る。

兵庫 おーし！練習するぞ！って俺らの場所で何やってんの？
S この場所は女バスがもらう。
福島 勝負で決めるんじゃないかったのか？
栃木 そうだ。

S 泣くな、やるぞ。
K こんな状態でできるわけないよ。
P 無理だよ。

松本 やんねえのか。
S やる気ねえなら帰れ。
U やります。

○ えらい。
S イチゴ農家。K頼んだぞ。
愛知 いくぞ。

男バス対女バスがはじまる。兵庫がジャンプボールを栃木に、栃木から松本へ。

福島 おい松本早く抜けよ。
松本 ちよつとやんにきい。
福島 なんだ？
松本 女の子だから。
S ばかにすんな！

S 松本のボールを奪ってシュート。

兵庫女子を抜いてレイアップを決める。

兵庫 俺らに勝てると思うなよ。

女子の中でボールが回る。男子も負けじと奪う。○が思いきり投げたボールがボードにはじかれる。Dがとる。

S D走れ！

Dボールをもってダッシュ。

栃木 それトラベリング！

S D、ボールもって走るなって言ったよな。
D だって走れって言ったし。

S ボールもって走るのはバスケットじゃねえ。

S 私バスケット知らないし。

S さっきやったろ。

U ごめんなさい。

K S言い過ぎだって。

S 謝ったら勝てんのか？

S ごめんなさい。

S 泣いたらうまくなんのか？

U ごめんなさい！

S 本気でやるんじやなかったのか！

S-

あのさ、Dは初めてだからうまくできないに決まってるよ。○行く。

P お前らも逃げんのか。

S ごめん、私みんなの所に行ってくる。

K 勝手にしろ。

S 勝手にしろ。

福島 どーすんの？

兵庫 俺らの勝ちでいいか？

松本 それでもチームか。

愛知 立花。
S 一人でもバスケットはできる。

試合続行。福島から愛知にパスをSにとられる。Sと対峙する愛知。

愛知 お前みんなに謝ってこいよ。
S 止めてみる。
愛知 そんなことより、謝ってこいって。
S 止めてみる。
愛知 立花！
S だ！
兵庫 俺らが勝ったら出てけよ。
S は！
福島 止めてやるよ！

男子総出で止めにかかる。兵庫と福島に挟まれてSやみくもにシュートをうつ。

有働 Sさあああああん！！！！！！
有働。

兵庫 誠道高校有働大木。

有働 Sさん、やはりあなたは素晴らしいプレイヤーだ。あなたのような小さな女性が

あの男どもをもものともしない。どうです、おいどんと付き合いませんか？

S いや。

有働 そう言うと思ってました。ってそんなことより、下田農業男バス諸君。君たち女

子一人相手に腐ってないか？Sさんおいどんに任せてください。こんなクズどもお

いどん一人で叩き潰してやります。

お前ひとりでか。

ならば2人だ。Sさんどうです？おいどんとバスケしませんか？

S いや。

有働 そう言うと思ってました。

ドンマイ。

黙れ。

兵庫 相手は結局1人だ、勝つぞ。

試合開始。有働ボールを取り速攻でスリーを決める。

有働 こんなもんか。

福島！

福島 速攻だ！

松本速攻で仕掛けるがとられる。取り返そうとするが取れない。

俺に任せろ。

やるよ。抜いてみる。

なめんじやねえぞこの野郎！

兵庫有働を抜こうとするがとられる。福島隙をついて取り返す。

隙あり！

流石にとるか。

なめんなよ。なめんなつつつてんだろ！

君たちがへたくそすぎるんだよ。

なんでこの場所に来た。

福島
有働
福島
有働
福島

有働 女子バスケット部の無い下田農業高校にUさんが来た。そのわけを見に来た。
福島 はあ？気持ちわりいな！

福島 仕掛けるがとられる。愛知、栃木も抜かれて有働がシュートを決める。

有働 お前から練習不足だ。つまらん、帰る。Uさん、なぜあなたはこんなクズたちと試合を。
S お前には関係ない。

有働 このままでは練習不足であなたも腐ってしまう。
後藤 お前から、実習ほっぽり出して何バスケやってんだ。

松本 おれたちにも練習させろよ！

後藤 おい、その女子、あ、水町が泣かせたのか？

水町 なんもしてないし。

後藤 五十嵐先生がもうすぐイチゴの出荷から帰ってくる、行くぞ。

女子、ぞろぞろついていく、KはSに近づく。

福島 俺たちが実習してる間、あいつら練習してんだろうな。行こうぜ。

K みんなに謝って。

S ……

K みんなに謝れ小百合！

S Sだ！名前に意味なんかない。

K ばか！

S おい、この場所はあたしの物でいいか。

愛知 みんなに謝ってこいよ。

S ……走ってくる。

愛知 は？

S 私走ってくる。

S 走り出す。愛知もつられて走る。

愛知

あのさ、お前転校生なんだろう、やっぱり人と人との出会いは大切なもんでさ、一期一会って知ってる？あ、別に俺がイチゴ農家だからとかってそーゆーわけじゃなくてつまりその俺が言いたいのは、みんなに謝って来いってわけで！…あの家なんかあんの？

S おまえには関係ない。

S は、何それ。勝手にしろ！

S あっちいけ！

愛知 去る。S 走るのをやめて倒れこむ。

S くそっ！つぜえな！

そこにトラックに乗った五十嵐が来る。

五十嵐 立花。

S Sだ！

五十嵐 なぜ寝ている。

S ここは私の場所だからだ。

五十嵐 なぜ？

五十嵐 勝った。
五十嵐 男バスにか？
五十嵐 ……
五十嵐 通行料だ、通してくれ。
五十嵐 んなもんいらねえよ。
五十嵐 お前イチゴ好きなんだろ。
五十嵐 ……(だされたイチゴを食べる)
五十嵐 うまいか？
五十嵐 ……おいしくない。
五十嵐 うまいか？
五十嵐 ……おいしくない。
五十嵐 そうかじゃあこれはいららないな。
五十嵐 あ！つまってまって。
五十嵐 乗れ、みんなまだ実習をやっている。

轉換。音楽。イチゴ調整室。ごったくが男バスを率いてイチゴアイスを作っている。

後藤 全員集合！！！！
男バス うえええい！！！！
少年 下田農業高校加工班にはアイスクリーム実習がある。つぶしたイチゴを入れる。
松本 あああ！つぶれた。
愛知 つぶしたんだろ。
兵庫 仕方ねえから入れるか。
少年 砂糖とかいろいろ混ぜって牛乳をいれる。
後藤 松本こい！
後藤 先生！砂糖と生クリーム混ぜた！
後藤 よし入れるぞー！
後藤 うえい。
少年 スタートボタンぼちっ。ぐわんぐわんぐわん。ピーピーピー。
後藤 よーしお前ら、イチゴアイスクリームの出来上がりだ！
後藤 女子も集まってくる。おいしそう。

少年 これはアイスクリームができたのに、加工班の男バス部が五十嵐先生にしかられている時間だ。
五十嵐 すべての食べ物はくさっていくんだ。特にこのイチゴは、とった瞬間から腐っていくといってもいい。だから急いでやらなければいけない。でも、いい加減な触り方をしたら、イチゴは軟らかいから傷む。
兵庫 はい。
五十嵐 何回言った。
兵庫 すいません。
兵庫 なぜこんなに、くずイチゴが多いんだ。
五十嵐 すいません。
男バス 何回言ってもできない。しかも、このパック詰め直しをしたな。いちごに指紋がついている。
福島 はい。
松本 詰め直しました。
五十嵐 ぐちゃぐちゃになった。これはもう商品にならない。

兵庫 すいません。
五十嵐 すいません。何にあやまっているんだ。
兵庫 先生にだよ。
五十嵐 違う。

後藤 ……後藤先生。なんでこの子達。そのですね。たくさんできたくずイチゴでアイスクリームをつくっているんですか。

五十嵐 私がやってみたらいいいました。
後藤 私は知りませんが。

五十嵐 私が指示しました。
どうして。

僕らがだめにしたイチゴを、捨ててしまうのはもったいないと思ったからです。自分たちの失敗をアイスクリームにしてごまかしてるだけだろ。

兵庫 そういうわけじゃねえ。

五十嵐 イチゴ1つ大事にできない奴が、仲間からのパスを大切にできるのか。
松本 関係ねえだろ。

後藤 おい！

五十嵐 イチゴがだめにならないようにバック詰めをしろ。

五十嵐 そういう集中力がないから。お前達は試合に勝てないんだ。

福島 ちげえよ。

五十嵐 何がだ。

後藤 やめろ。

五十嵐 もう一度やり直せ。全て終わるまで部活に行かせない。

松本 あのださあ！俺たち部活いきたいんですよ。

全員 ……

松本 頭悪いけど、バスケの推薦で入ってんだよ俺！最後の試合近えんだよ！この時間無駄なんだよ！

五十嵐 この時間の無駄を作ったのは、私じゃない。

松本 はあくじゃあ、失敗しないように指導しろよ。

五十嵐 今、指導してるじゃないか。

松本 うっせんだよ！

松本、五十嵐にくっつかかる。兵庫が止める。後藤が五十嵐をかばう。

松本 なんだこんなイチゴぶっ飛ばしてやる！

愛知 やめろ！

愛知投げられる。みんなが松本をつかむ。

栃木 食べ物を粗末にしちゃだめだよ。

福島 あの、先生。この松本。母親と2人暮らしで、入院してて。今度の試合。

松本 いうなよ。

兵庫 うちら万年一回戦負けなんですけど。勝ったところ見せたいんですよ。

松本 いうなっつてんだろ。

五十嵐 先生！俺らさつき誠道に負けて馬鹿にされてだから本気で練習してえんだよ！

そうか。でも、結果が全てだ。これが結果なんだ。この時間が一番無駄じゃないのか。

男バス ……

後藤 みんな！Sサイズのイチゴのバック詰めは大変だがみんなで作ってほしい。頼む。もう諦めたら。あたし達手伝うから、早くバック詰め終わらせよ。あたし早く

帰りたいし。

K 練習は？

P なんの？

K バスケの。

P うちら意味ないんでしょ。最初はバスケ面白かったけど、もういい。

後藤 お前からちゃんとやってくれよ！

松本 なにおまえやってんだよ？

兵庫 なに一人でやってんだ！

愛知 農業高校なんだ、仕方ないだろ。

福島 お前はどっちの見方なんだよ、どっちの見方なんだ！

栃木 練習したくないのかよ。

愛知 したいよ

松本 ならやんなよくず。

愛知 るせえ。

松本 ああ！

兵庫 やめろ！

後藤 おまえら腐るな！！

(間。愛知、五十嵐先生のところへ) 先生僕この中で一番バスケへたくそなんですよ。だから練習したいんですよ。このSサイズのいちごのパック詰めやめませんか。この季節にこの市場価格ですしやめませんか。えっ。

全員 ……なにが言いたいんだ。

愛知 このイチゴ、なり疲れを起こしてますよね。

五十嵐 ……

愛知 GWに実をならせすぎたせいで、今、学校のイチゴの株は疲労しています。

五十嵐 そうだ。

愛知 だから、Sサイズの実しかならない。

五十嵐 そうだ。

愛知 みんなに無駄なことをやらせているのは先生じゃないんですか。

五十嵐 おまえの言うとおりだ。愛知。

愛知 なら。

五十嵐 あのハウスのイチゴの苗は、2年生の秋、みんなであえた。

愛知 はい。

おいしいイチゴが食べたくなってみんないってくれた。でも、すぐに病気がでた。みんなで大変な思いをして葉かきをした。それでなんとかしのいできた。気がついたらおまえ達も3年生だ。

全員 ……

五十嵐 最後までやってほしい。……松本、さっきはイチゴに何しようしたんだ。

松本 ……

五十嵐 もうするな。

五十嵐は調整台について、パック詰めを始める。

後藤 いや、先生、私がやりますよ。

五十嵐 私がやります。

愛知は、五十嵐によけいなことを言ってしまったことに気づく。すると、Sが手伝う。

Kc. 五十嵐は嫌いだけど、五十嵐の作るイチゴは好きだ。五十嵐のイチゴは本気だから好きだ。
S 五十嵐
S 五十嵐
O 五十嵐
先生は嫌いだ。
そうか。
そうか。
先生はや。

Sは、一生懸命やっている五十嵐をみて。それから、みんなをみる。

S ……みんなさつきはごめん。

Sは、パック詰めを再開する。女子もつられてはじめる。
男子も順番にパック詰めに参加する。

S ここ使えよ。

愛知は隅で掃除をするしかない。

S 五十嵐先生アイスクリーム、溶け始めてるんですけど。

松本 そりゃ溶けるわな。

S 五十嵐先生、アイスクリーム食べよ。

S 私はいらぬ。みんなで食べればいいだろ。

先生が作ったイチゴを使ったアイスだ。きっとおいしい。先生が食べないとみんな食べれない。
!

五十嵐

五十嵐、全員の視線に気づく。五十嵐、一口食べる。おいしい。

全員が笑顔。

五十嵐、夢中になって食べる。そして周囲の視線にあらためて気付く。

五十嵐 あのこと…：…みんなで食べませんか。
後藤 先生！

みんな溶けかけのアイスを食べる。おいしい。居場所のない愛知のところへSが近寄る。

O 先生どうしたの？

私に考えがある。ちよつと聞いてくれ。値段がやすくなる小さいイチゴは。

うん。

はじめからアイスクリームに回せば。

うん。

イチゴのパック詰めの数へらせる。

おおー！

S サイズのイチゴは「サイズのイチゴに比べて。パック詰めする手間は多いが値段は安い。だが、だだが！アイスクリームにすれば…：…！」

パック詰め量が減るから早く部活に行ける！

よしやろう!!!

女バスにも練習させろ。

なら俺たちに、お前の技を教えろ。

そうだ。

S 松本
兵庫
福島

K ただじゃだめだよね。

S このクズが私についてこれんのか？

愛知 はあ？やってやるよ。

U 私も頑張る。

兵庫 みんなでやろう。先生、これ終わったらバスケットしていいですよ？

五十嵐 いいぞ。

全員 やったー！！

後藤 よし、イチゴアイスクリーム、メイドイン下田バスケットボールクラブ行くぞ！

全員 うなーい！

後藤 手を洗うぞ。

全員 ういつす。

後藤 蛇口を開ける。

全員 ういつす。

後藤 石鹸をつける。

全員 ふしゅ。

後藤 洗え。

全員 ごしごしごし。

後藤 洗い流せ。

全員 じゃー。

後藤 蛇口を閉める。

全員 ういつす。

後藤 お前ら、綺麗になったか？

全員 きらきらきらー。

後藤 手袋。

全員 しゅっふーふーしゃきいん。

後藤 消毒。

全員 じゃー。

後藤 よし、イチゴアイスクリーム作りの始まりだー！

全員 しゃー！

意気揚々と作業にとりかかる。転換。

少年 全てのものは腐っていく。でもアイスクリームは、腐っていく時間をとめてくれるんだ。下田農業の5月いっぱいイチゴ栽培を無事終わることができた。

後藤 全員集合！

五十嵐 これで最後のイチゴ収穫を終わる。

全員 しゃああああ！

記者 イチゴアイスクリームは大評判になった。学校中の人がイチゴアイスクリームを買った。そして、町中の人が買った。そのうち県外の人も買いに来るようになった。イチゴアイスクリームを作るバスケットボール部はなんと新聞で報道された。噂道理の大盛況ですね。こちら下田新聞です。イチゴアイスクリームの特集にきました。みなさん並んでください。あ、イチゴの先生ですか？笑顔お願いしますね。

福島 先生笑えよ。

K 笑顔笑顔。

五十嵐 わかった。

記者 ハイチーズ・・・せーの！

全員 カシャ！

下田男バス女バスの合同練習が始まる。

少年　そして、イチゴのパック詰め実習がなくなって、下田農業高校バスケットボール部の練習時間は大幅に増えた。

後藤　スリーonスリー。

男子S女子のミニゲームが始まる。

少年　人数がぎりぎり練習時間もぎりぎりの下田農業高校バスケットボール部は男子バスケットボール部と女子バスケットボール部による合同練習を展開した。

愛知　愛知！

兵庫　今日こそ抜くぞ！

後藤　ごめん！

少年　もう一回！

後藤　そして！

愛知　立花をよく見ておけ。

少年　はい。

これがワープアラウンドという技だー！右に行くと見せかけて、左に行くと見せかけて、右に行く技だー！

Sのワープアラウンドが可憐に決まる。大歓声。

S　カウンター！

プ全員　勝つぞー！

少年　下田女子は練習試合に挑戦した！

プ1　（プ3の名前）！

プ3　はい！

Sに抜かれる。

あつ！ごめん！（倒れる）

誰あいつ！

見たことある！

（プ3の名前）立て！

Sだ！聖上中のSだ！

S！？

Sに渡すな！

S、抜いてシュート。

少年　そして地区の高校との練習試合にすべて圧勝した！

男子他校戦。

S　愛知カット！

愛知カットできない

松本　どこみてんだよ！

松本シュート！ 大歓声！

兵庫 福島！パス！

福島 へい！ハイさんねーん（笑）栃木！
栃木 っしや！

栃木、旋回！！！！

少年 元気しかとりえのない男バスの5人は、Sのテクニクを学んだ！
男プ1 下田の愛知ってクズだつてな！
愛知 うるせえ！

愛知がカットしたボールを福島がとる、愛知にパスする。

福島 愛知決める！

愛知はずす、女子の反応、がっかり。松本決める。

兵庫 We are!!
全員 Family!
農業高校生 フレフレ！下田！フレフレ！下田！

みんなでハイタッチ！

S 愛知 お前本気でバスケやってねえだろ！
S やってるって！
S とめてみる。

S、ワープアラウンド。

兵庫 ワープアラウンド。
S 今のやるか。

愛知 俺下手だから。
福島 お前本気でやるって言ったよな！
S あたしもちびで、下手だった！
愛知 やるよ！

S やってみる！右、左、右、後ろ、へたくそ飛ばすなもう一回。
兵庫 あの二人なんかいい感じじゃない？
K 恋が始まるかもね。
S 右、後ろ！

愛知奇跡的にそれっぽいものができる。

S 面白れえか。
愛知 面白れえよ！
後藤 準決勝勝利の差し入れだ！
少年 いつのまにか男バスは地区予選決勝戦まで進んだ！

誠道は余裕の笑みで通り過ぎる。

少年

決勝戦の相手は中部地区最強有働大木率いる誠道高校だ。来週決勝戦となった。でも、部活動に弱い下田農業高校をイチゴアイスクリームが強くしてくれた。戦う者の歌が聞こえる。

Σ

戦う者の歌が聞こえるか。

愛知

鼓動があのだらむと。

全員

響きあえば。

みんなで「民衆の歌」合同練習にもさらに熱が入る。

後藤

限界突破ー！

全員

しゃー！

後藤

右、左、下。

少年

全校生徒がバスケットボール部を応援した。

後藤

スピードアップ！

どんどん上がるスピード。みんなついていけない。

少年

公式試合に出たいΣ達は女バスの顧問を五十嵐先生に頼みに行った。

Scene 3

対戦 聖マリアンヌ

Σ

先生。女バスの顧問になってください。

五十嵐

断る。

K

どうしてですか。

五十嵐

お前たちは立花がいるから勝っているだけだ。お前たちのバスケットはお互いのバス

U

一本一本を大事にしている。お前らのイチゴのバック詰めと同じだ。お前たちの

Σ

バスケットの意味はない。解散しろ。

U

ごめんなさい。

五十嵐

なぜあやまる。

U

これからイチゴのバック詰め一生懸命やります。

五十嵐

そうか。でもごっことはほどほどにしないとね。

Σ

先生、先生はバスケットの経験者ですよ。

五十嵐

……さあな。

Σ

私の父、全日本の選手です。でした。

五十嵐

……

Σ

遠距離からスリーを決める五十嵐って選手がいるって聞いたことがあります。

五十嵐

えっ。

Σ

先生、女バスの顧問になってください。

五十嵐

……

全員あたまをさげる。

五十嵐

ごっここに付き合うひまはない。

Σ

ごっこじゃありません。

五十嵐

じゃあなんだ。

Σ

勝ちます。

女子

……

五十嵐

……ならお前らが公式戦で負けるまで顧問をやってやる。

女子
S 勝ちます！
女子
五十嵐 勝ちます！
U 負けたらその場で解散しろ。結果がすべてだ。
対戦校は。
五十嵐 聖マリアンヌ女学院だ。
マリ1 聖マリアンヌ女学院集合です。

音楽。聖マリアンヌ高校のバスケットコート。
女子バスケットボール部の練習をしているコートになる。
びくびくして体育館に入るU人。そして悠然としている五十嵐。
聖マリアンヌ試合前の練習開始します。

マリ1 はい。
女全員 三角バス行きます。
マリ1 はー。1.2.3.4.5..
女全員 高城せんせい♥お願ひします♥
女全員 おねがいします♥

顧問 オーツホツホツホッホッ皆さま〜ごきげんよう。
女全員 ごきげんよう。
顧問 ん〜エレガントですわ〜見てくださいますし、このエレガントなバラを。
高城先生バラをむしゃり。

顧問 フローラルですわ〜。あら、フローラルな香りに交じってなんだか土みたいな香りがしますわね。ん〜何かしらあれは。お地蔵さま〜？
マリ1 先生、この試合会場にお地蔵さまなんて古めかしいもの、ございませんわ。
顧問 あら〜そうだったわね。じゃああれは何かしら。お・じ・ぞ・う・さ・ひやー！
五十嵐 あら、お地蔵さまじゃなくて五十嵐先生だったの。前より顔が石みたいになったから気づきませんでしたわ〜。ところで今日は何用かしら。
五十嵐 試合に参りました。

顧問 あら〜、そうだったわね。私の権力で特別にシード校である私たちと戦わせてさしあげることにした下田農業御一行様じゃない。
女全員 ようこそ。
顧問 私、忘れてないわよ。イチゴ持ってきてくださったかしら。あら〜。わるいわね。
澤田 マリ3 デリシヤス！あなたたち、食べるかしら？
マリ3 イチゴ持ってきて。
マリ3 はい。

顧問 選手達食べる。もぐもぐ。
五十嵐 皆さま、エレガント性に欠けますわよ。もっとおしとやかに。
顧問 うちの生徒がつくったいちごです。
澤田 いいわね。イチゴ。そういうところだけはあなたたちのところもエレガントね〜
五十嵐 おいしかった。で、この子達なあに〜。
顧問 試合に来ました。
澤田 だから試合になるの。
澤田 ストレートよ。澤田ちゃん。でもいいわ、見せてあげなさい。あなたのエレガント性を。
澤田 意味あるの。先生。
五十嵐 おねがいします。

S 達も頭を下げる。

澤田 S。あなた今までどこにいたの。小さくて見えなかった。
久しぶり澤田。

知り合い。

K ライバル。

マリ1 試合の準備入ります。

顧問 いいかしら？1ピリよ。1ピリ。さあ聖マリアンヌに勝利のバラ束を。

女全員 勝利のバラ束を。

後藤 これより、聖マリアンヌ対下田農業の試合を始める。礼。

全員 お願います。

澤田 どうぞ。

P なにそれ。

S 大丈夫だ、落ち着け。

澤田 あげるわよ。

聖マリ はい。

コートがさつと開く。男バス見守る中。試合が始まる。
特訓の成果あって、最初の2ゴールを決める。

マリ1 カウンターいきまーす。

K 何そのパスの距離。

澤田 無駄な動きが多いの。

S 対澤田。澤田を止める。

澤田 S。あなた今までどこにいたの。小さくて見えなかった。
止める。

澤田 あなた、私の知ってるSじゃない。

S 勝つ。

澤田 だあれもこないね。

S 誰か、来い！

S 澤田を抜いて、シュートを決める。

顧問 澤田ちゃん、おもりをはずしなさい。

澤田 おもりとつて。

2 うわああああ。

3 私の時間がはじまるわ。

そして澤田。パスを1に。そのままきれいに234と回す。そして澤田にもどす。
澤田は、スリーを決める。カウンターをかけるが、そのまま、とられて、全員に交代でスリーを決められる。なんとSでカウンターをかけても、スリーを決められる。
走り回るS人。

澤田 今からあなたに勝つ！

S 私は負けない。お前にも、これからも。

Sと澤田ボールの取り合いになる。澤田がSを振り払う。ボールが腹に当たる。

みんな心配して寄ってくる。

後藤 立花、大丈夫か。

S 大丈夫です。・・・マークに戻れ。マークに戻れ！まだ終わってねえぞ。

澤田 立てよS、立てよ！

S Kが立ち上がれなくなる。でも、立ち上がる。Pがつかけて泣いている。でも。やめない。

S お前らへばってんじゃねぞ、最後まで戦えよ！

S はもはや限界。シュートは入らない。

間。

バカにしている澤田たちはもはやボールを追わない。

澤田 立てよS、立てよ！

マリ1 農場帰ったら？

マリ3 イチゴ農家って朝早くからイチゴとってんでしょ。

マリ全 すごーい。

マリ2 あたしたちは、朝5時から練習してるの。

マリ全 うふふふふふ。

下田 ・・・

マリ4 もう帰ったら？おいしいイチゴ作ってよ。

ノーマークになった俊足のUがボールをさらい。そして転ぶが、Oがボールを受ける。そのままドリブルして。シュートする。

そして試合終了。

全員消耗しきっている。泣いているU。

後藤 聖マリアンヌ対下田農業。勝者、聖マリアンヌ。

聖マリ ありがとうございます。

顧問 皆さま、今日もエレガントでしたわ。ゆっくり休んで下さいまし。

澤田 ねえS。今日からあたしがSって言っていいいわよね？さよなら。

S ・・・てよ・・・までよ！！！！

五十嵐 負けたな。

全員 ・・・

S 生意気言っすいませんでした。

五十嵐 解散するか。

S ・・・はい

S S・・・Sのち向けー！

K ！

S なんて解散するって言うの！

K うちら試合に負けた。

K みんな頑張ったんだよ。みんなの努力も認めてよ。

S 私は澤田に本気でやった。お前ら解散しないために走ったか、本気でやったか。

K 本気でやった。みんな本気だった！

S お前ら足手まといなんだよ！お前突っ立てただけだ！動けてねえ！パスとれ！K

K お前カットできたろ！あたしが5人いたら勝てた！

愛知 お前何言ってるんだ！！

五十嵐 男子は黙ってる。

K Sがそういう人だとは思わなかったよ！

S ……バスケやめる。……あたしバスケやめる。
K やめるなら勝手にやめろ！
五十嵐 お前達がごっこじゃないことはよくわかった。……おまえ達の顧問を続けてやる。
全員 !
五十嵐 全員顔洗ってこい。学校に戻って練習だ。

返事をするもの、動き出すもの。Sを残してみんな去る。Sは震えている。

Scene 4

一人暮らしわけ

S1人立っている。愛知がアイスをもつて来る。

愛知 立花、向こうでみんなアイス食べてるからさ、おまえの分持ってきたから食べないか？立花。立花…。立花。

S ……走ってくる。
？

私走ってくる。

愛知 お前また。じゃあせめてアイス食べてからにしないか？試合の後で喉からからだろ。イチゴアイス。

……この学校から母さんの住んでる家が見える。

……

S カーポートがあつてコンクリートの庭で緑の屋根の家だ。

愛知 あそこだよな？なんであの家に住んでないんだ？

S 私はあの家に帰れない。あの家は父さんと母さんと私が3人で暮らしてた時の家だ。母さんしかいない家に私は帰れない。帰りたくない。……小さいころの私はあの家に住んでた。父さんも住んでた。庭にバスケゴールがあつて、日が暮れるまで父さんと一緒にバスケやった。喉からからになるまでゴールの下で練習をした。そうするとさ、窓がさつと開いて、冷蔵庫からアイスクリームって母さん出してくれて、また窓をバンって閉めるんだ。なんで窓をバンって閉めるのか、子供の頃の私には分からなかった。けど、ある日、小学校の試合で勝って、優勝して、走って帰った。父さん母さんって。父さん母さん勝ったよ、勝ったよって走って帰った。喉からからで、頭ん中アイスクリームアイスクリームって走って帰った。あの屋根に向かって走って帰った。そしたらさ、なんかさ。

なんだよ。

S 窓がバンって開いてさ。私アイスクリームって言ってんのお父さんとお母さんとどつちがいつて聞かれた。あたしアイスクリームって言ってんのにお父さんとお母さんとお母さんとどつちと暮らすって聞かれた。私意味わかってなかったから、父さんとバスケの練習したかったから、父さんって言った。母さん可哀想だった。悪いのは父さんだったのに。私本当は小森って名前なんだ。でも立花って名前に変わった。いろんな学校で、小森って、立花って呼ばれて。だから私の名前に意味なんかない。……私学校やめるから。私本当はバスケやめるつもりでこの学校に来た。でも、お前らがバスケやってんの見てバスケやめられなくなった。気づいたら私仲間作って、で私、全部傷つけた。だから学校やめる。バスケをやめる。じゃあな。

愛知 待てよ。待てよ！お前が来てからさバスケ楽しくてさ、男バスも強くなってさ、やっとバスケに本気になれたんだ。お前との練習楽しかったんだ。お前が学校やめるなんて嫌なんだよ。止めてやる。お前が学校やめるの止めてやる。……このアイスが溶け終わるまでにお前を止めてやる。俺が勝ったら、お前が学校やめるのをやめろ。

……来いよクス。

愛知飛び込んでSのボールをはじく。

愛知
ふざけるなよ。本気で来いよ。立花！……！
……もう1回だ。

愛知飛び込むが今度は取れない。

S
イチゴ農家・私を止めてみる！！！！

S
ワープアラウンドを仕掛けるが愛知止める。そのままシュートが決まる。

愛知
俺さんの作るイチゴが嫌いなんだ。朝3時に起きて、イチゴ収穫して、パック詰めしてき、そんなに高くないイチゴ売って、そんなことを毎日、毎日やるんだぜ。でもそうやって父さんたちがイチゴやってくれるから俺高校にいて、みんなとバスケットできるんだ。

一人でもバスケットはできる。

仲間がいて、敵がいてみんながいるから試合ができるんだ。

私はいつも一人だった。何がわかる。この気持ちがお前にわかるか？

わからない。

S
わからなくていい！

お父さんにバスケット教えてもらったんだろ。だからそんなにうまいんだろ……！
1人じゃ何にもできないんだよ。本気でやれよ。周りに甘えてるのはお前だ。バスケットが好きなら本気でやれよ！

父さんはSのことを少しかわいと思った。だから口説いてみた。
俺、明日決勝なんだ。見に来てくれないか。

……いかない。

男と女はうまくいかない。

俺有働に勝つから。

勝てるわけないだろ。

お前に勝った。

私に勝って調子こくなクス！

あーもう。俺の勝だから。アイスまだ溶けてないからな。それで、俺が勝ったらアイス差し入れてくれないか。

いやだ。

はあ！？あつそう！やつはお前なんか嫌いだ。

私も嫌いだ。

でも、溶けかけたアイスクリームはとっても、とっても甘いんだって僕は母さんに聞いたことがある。母さんは、父さんの作ったイチゴを使っていつもアイスクリームを作ってくれる。そして、溶けかけたアイスクリームの話をいつも楽しそうにしてくれるんだ。翌日の昼下田農業高校の決勝戦だった。なのに、Sは大きな荷物をまとめてバス停に立っていた。もしこのままバスが来て、Sが行ってしまったら僕は生まれてこないことになる。グラデーションで言うところのあたりからこのあたりまできゅいーんって消えかかっている感じなんだ。

先生、軽トラで男バスの会場までいったいいの？

こうしないと試合に間に合わないんだあ！

先生、昨日の試合からSと連絡できないんですよ。先生聞いている？先生

小池、少し黙っている。

なんで。

K
後藤
K
五十嵐
K

五十嵐

捕まるから。

後藤

ああ!!!!!!!!!!

K

なに!!

後藤

あれ、立花じゃないか!?

K

S-

少年 そう、この軽トラが移動する時間にバス停で待っているSをKは見ってしまったんだ。僕のグラデーションはしゅーんって元に戻った。

K

S、S-

S

K-

バス停

ガード。

K

S っつてば! 試合に行きなさいよ。試合始まつちやうでしょ。

S

私学校やめる。私みんなにひどいこと言った。Dだって一生懸命走って、Pは何度もドリブルで抜こうとして、Oは私がこぼしたボールをシュートしてくれた。Kは私とみんなを繋いでくれた。一緒に女バスを作ってくれた。なのに私! みんなに合わせる顔がない。だから黙ってて。これでお別れにする。

K

みんな出ていき!!

OPU

S-

S

なんじゃ。

五十嵐

こうしないと試合に合わなかった。

後藤

実習が長引いたんだ。先生たちも苦渋の決断だったんだぞ。

K

私、Sにひどいこと言った。まだ謝ってない。Sバス好きでしょ。私Sとバスケするのが好き。

D

私下手だけど、もう1回バスケする。

K

・・・下田女子バスケ部行くぞ!

女バス

おー!!!!!!!!!!

後藤

先生、試合間に合いますかね。

五十嵐

少し飛ばすぞ。

Scene 9

最後の試合とアイスクリームが溶けるまで

誠道との試合。会場は大盛り上がり。下田、バスを回してせいどうを抜いていく。

誠道

させるかあ!

少年

この男、愛知五郎は疾走した。残り時間は12秒。目の前に有働大木。そして男は、ワープアラウンドという技を使ったあ。たあ。たあ。

愛知

ワープワープアラウンド!!

少年

観客席の大歓声。しかし時間はあと5秒!

兵庫

愛知、俺に回せ!

S

愛知、うてー!!!!!!!!!!

愛知のスリー決まる。観客席大歓声。下田大喜び。

少年

そして愛知のスリーポイントシュートが決まった。79対78。でも残り3秒。

兵庫

まだだ!

誠道 1

有働!!!!

有働

うおおおお!!!!

少年

時よ!

男子

時よ!

女子

あらし達のイチゴアイスクリームみたいに!

少年

時よ凍れーーーーー!

有働がダンクシュートを決める。
観客席大歓声。審判のホイッスル。
もりあがる誠道チーム。
下田男泣き。でもよくがんばった。

S ……差し入れ。

S 勝ったら持って来いって言っただろ。
いいシュートだったのにな……。

S、泣いている。愛知泣くのをやめる。

戦う者の歌が聞こえるか。

……

鼓動がああドラムと響きあえば。

新たに熱い命が始まる。明日が来たときそうさ明日が

S 愛知
S 愛知

全員の唄に広がる。

少年
イチゴアイスクリームが溶け始めてから、20年の時が過ぎて、僕は10歳になった。お父さんはいちご生産の有限会社を作って、お母さんと二人でイチゴの栽培をしている。そして夕方になると、高校時代の仲間たちとあつまって、バスケの試合をハウスの外で始まる。

夕方。仲間たちが団場の片づけをしながら、試合の準備をしている。
IとSは何やらケンカしながら入ってくる。

I 少年
で、結局、父さんと母さんは、どっちが強いの。

S 今では、お父さんだ。

S 100年早いし。

I でも、お父さんなんだ。

I わかった。

S こらあ。

なだめる仲間達

兵庫
それでは、今日も

小池
試合で決着つけますか。

歓声の中。仲間達が集まってくる中。

少年が、ジャンプボール。

試合スタート。

バスケをする人。応援する人。

みんながいる。

今日も本気で生きていく。

幕